

令和2年度 法科大学院入学者選抜試験問題

民 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペンまたはボールペン(鉛筆は不可)を使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 解答用紙は、3枚あります。すべての解答用紙に受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【民 法】

第1問（各4点×10問）

以下の文章中の空欄①～⑩にあてはまる適切な言葉・表現を書き入れなさい（なお、正解は単語一つとは限らない）。

- ・ 不法行為に基づく損害賠償の範囲について、判例は民法（①）条を（②）して判定するとしている。この見解は、民法①条の背後に（③）の考え方があり、この考え方が不法行為にも妥当すると考えるものである。
- ・ 契約は、二つ以上の（④）が合致したときに成立する。一つの④が効力を生じるのは、その④が（⑤）した時である。
- ・ Aには配偶者B、子Cがおり、Cにはその子Dがいる。また、Aの父Eも存命である。Aが死亡した際、Cが相続を放棄した。この場合、Aの相続人となるのはBと（⑥）であり、Bの相続分は（⑦）である。
- ・ 保証契約は、一般の契約と異なり、（⑧）によって契約する必要がある。また、連帯保証人は、通常の保証人と異なり、（⑨）や（⑩）が認められない。

第2問（各20点×2問）

次の各問について、15行以内で答えなさい。

- (1) 占有改定と即時取得の関係について、判例の見解を、他の有力な見解との異同を明らかにしつつ説明しなさい。
- (2) Aの精子とBの卵子（AとBはともに結婚していない）で作成した受精卵が、C（Dの配偶者）の子宮に入れられ、これによってCがEを出産した。この場合にEの法律上の親は誰か、説明しなさい。

第3問（各20点×2問）

I 次の（事実）について、下記の（問1）に答えなさい。

（事実）

- 1 Aは、建物甲を所有している。
- 2 Aは令和2年5月1日、Bとの間で、期間2年、賃料月額15万円、敷金50万円として甲を賃借する契約を結び、甲をBに引き渡すとともに、敷金50万円を受領した。
- 3 Aは資金調達の必要が生じ、甲の買い手を探していたところ、CとDが代金を出し合って共同で購入することを申し出た。そこでAはC及びDとの間で、令和3年4月1日、甲を代金1000万円でCとDに売却する契約を締結した。これに基づいて所有権移転登記手続が行われ、CとDの持分については代金として拠出した額に応じて、Cが60%、Dが40%とした。その際、A、C及びDは、甲の所有権の移転についての合意をしたのみで、AとBとの賃貸借契約については特段の合意をしなかった。

(問 1)

(事実) 1～3 を前提としたとき、C は B に対して、令和 3 年 4 月以降の賃料の全額又は一部を支払うよう請求できるか (一部と解する場合には、その割合についても)、検討しなさい。

II 上記の (事実) に加えて、次の (事実の続き) があつた。これを読んで、下記の (問 2) に答えなさい。

(事実の続き)

4 B は甲で小さな商店を営業し、仕入れも販売もすべて一人で行っていたが、法人形態で営業した方が節税になるとのアドバイスを受け、令和 3 年 6 月 1 日、株式会社 E を設立した。E 社においては自身が代表者 (代表取締役) となり、他の取締役や監査役に B の家族を任命してはいるものの、実質的には従前同様 B がすべての業務を担う態勢であつた。E 社の設立に伴い、B は E との間で、令和 3 年 5 月 1 日、甲の賃借権を E に移転する合意をし、甲を E に引渡した。E は同日以降も、看板や商号、業態を変えることなく営業を続けている。

(問 2)

(事実) 1～4 を前提としたとき、D は B 及び E に対して、甲の明渡しを請求できるか、検討しなさい。なお、明渡しにあたって何らかの手続きが必要である場合には、それについても言及しなさい。

以 上